

計画の名称	既存都市公園の再整備による魅力あるまちづくりの推進													
計画の期間	平成29年度～平成32年度（4年間）										重点配分対象の該当			
交付対象	田辺市													
計画の目標	本公園は田辺市の中心地に接続する海浜地に隣接し、田辺湾、白浜半島を一望できる温暖な気候に恵まれた空気爽やかな場所に位置し、昭和28年に田辺都市計画公園（扇ヶ浜公園）として計画決定され、海水浴場や保健慰労地として古くから市民に親しまれて来ました。施設の老朽化等もあり扇ヶ浜公園の再整備と併せ、同公園内に、武道の体験・学習することのできる武道館を整備することで、合気道を始めとする武道によるスポーツ交流（大会や合宿誘致等）を図ることが可能となり、併せて、本施設整備により、田辺ゆかりの偉人である南方熊楠翁の顕彰館や武蔵坊弁慶ゆかりの闘鶏神社（世界遺産）との回遊性を持たせ、市街地での滞留時間の増大と交流人口の増加にも結びつけたいと考えている。 また、当該場所は、沿岸部に位置していることから、公園利用者からは南海トラフ地震などの巨大地震が発生した場合の津波に対する心配の声が寄せられていますが、武道館に緊急避難場所としての機能を付加することで公園を利用する市民のみならず、近隣住民の安心感にもつながります。													
全体事業費（百万円）	合計（A＋B＋C＋D）		2,137	A	2,137	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / （A＋B＋C＋D）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		（H29当初）	（H30末）	（H32末）
1	武道館の稼働率を87.0％（H27）から92.0％（H32）に増加 武道館の利用日数から年間の利用可能日数に占める割合を算出する。 （武道館の稼働率）＝（武道館の利用日数）／（年間の利用可能日数（365日））（％）	87％	％	92％
2	武道館の利用者を52,151人／年（H27）から75,000人／年（H32）に増加 武道館の利用者数を調査する。	52151人／年	人／年	75000人／年

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-

A 基幹事業																				
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
都市公園・緑地等事業	A12-001	公園	一般	田辺市	直接	田辺市	-	-	扇ヶ浜公園整備事業（扇ヶ浜公園 6 ha）	武道館、広場、休憩所等（0.96ha）	田辺市	■	■	■	■		2,137	1.79	-	
												小計						2,137		
												合計						2,137		

事 後 評 価

○ 事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
田辺市にて評価を実施	令和３年度
	公表の方法
	田辺市のホームページにおいて公表

○ 事業効果の発現状況

定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	旧武道館（競技面２面）に比べ、新設した武道館はメインアリーナ競技面４面、サブアリーナ１面を備え、近畿レベルの大会の開催が可能となり、県内外の大会や合宿を誘致する準備を進めていた。しかし、新型コロナウイルス感染症の影響により、利用制限を行ったこともあり、積極的に誘致することが難しい状況にあるため、目標を大幅に下回った。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	本市ゆかりの偉人であり、合気道の開祖植芝盛平翁の記念館を武道館内に併設しており、国内から合気道の愛好者が見学に訪れている。

○ 特記事項（今後の方針等）

新型コロナウイルス感染症が終息すれば、近畿レベルの大会や合宿の誘致を積極的に行い、目標値を達成できるよう努めていきたい。また、合気道は日本のみならず世界各国に普及しており、今後多くの合気道関係者が記念館を訪れることが予想されるため、HPやSNSで広報活動を行い、武道館自体の利用者増加につなげていきたい。

○ 目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1	武道館の稼働率を87.0%（H27）から92.0%（R2）に増加		
	最 終 目標値	92%	武道館完成後には、県内の学生等の大会や県外からの合宿や大会の誘致を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の影響等により、思ったより誘致が進まず、また地元の利用も増えなかったため。
	最 終 実績値	62%	
2	武道館の利用者を52,151人/年（H27）から75,000人/年（R2）に増加		
	最 終 目標値	75000人/年	武道館完成後には、県内の学生等の大会や県外からの合宿や大会の誘致を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の影響等により、思ったより誘致が進まず、また地元の利用も増えなかったため。
	最 終 実績値	13476人/年	